

2024年4月1日

各位

日本ゼオン参画の研究開発テーマ、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の
令和5年度「革新的医療技術研究開発推進事業 (産学官共同型)」に採択

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社 (本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 豊嶋 哲也 以下、当社) では、この度、神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野造血幹細胞医療創成学部門 宮西 正憲特命教授 (研究代表者)、同大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター 黒田 良祐センター長 (兼大学院医学研究科外科系講座整形外科学 教授)、同大学未来医工学研究開発センター 村垣善浩センター長 (兼大学院医学研究科医療創成工学専攻 副研究科長・教授)、日本精工株式会社、株式会社イクスフローらとともに取り組む研究開発テーマが、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の令和5年度「革新的医療技術研究開発推進事業 (産学官共同型)」に採択されました。採択テーマは、「パーサタイル CD34 陽性細胞を用いた超個別化医療の実現」です。

再生・細胞医療・遺伝子治療開発に関する国内の状況として、治療を待つ小児や高齢者などへ安全性の高い長期的な効果を求める治療ニーズがあります。それを実現するために、神戸大学を中心とした研究開発拠点において産学連携でグローバル展開を目指したチームを構成し技術開発を進め、個人差の可視化、治療効果の最大化、細胞製造の最適化を通じて、個別化医療^{※1}の社会実装の実現を目指します。また、2025年度末までにコンソーシアム、自家細胞特化型医療研究開発統合センター (CIRDAC) を設置し、2026年度以降は社会実装に向けた研究開発を開始します。

当社は、中期経営計画において2030年のビジョン実現に向けた全社戦略に「既存事業の磨き上げ」と「新規事業の探索」を掲げており、今回の産学連携での取り組みへの参画は、医療・ライフサイエンス分野での新規事業探索の一環と位置付けています。また、当社の独創的材料を含む新たな技術を提供することで、超個別化医療の実現に寄与していきます。

当社は今後も、独創的な技術による社会課題の解決を通じて、「持続可能な地球」と「安心で快適な人々の暮らしの実現」に貢献していきます。

※1 個別化医療

個々人の体質の違いを遺伝子やたんぱく質などの分子レベルで把握することで、病気の原因遺伝子の特定だけでなく治療薬の有効性や副作用リスクを予測し、個々に適した治療 (個別化治療) を提供すること。

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) Web サイト:

革新的医療技術研究開発推進事業 (産学官共同型) 概要 <https://www.amed.go.jp/program/list/18/03/002.html>

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話: 03-3216-2747

お問い合わせフォームは[こちら](#)